

# 令和5年度 ごみ減量・もったいないねっト山形 総会

日時：令和5年5月30日（火）  
13時30分～

会場：山形市役所 11階 大会議室



（“ごみ減量すずむくん・かなえちゃんかるた”より）

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 議長選出
- 5 議 事
  - 第1号議案 令和4年度事業報告及び  
収支決算報告（案）について  
監査報告
  - 第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び  
収支予算（案）について
- 6 そ の 他
  - 役員の変更について（紹介）
- 7 情報交換（14時45分頃から）
  - テーマ：花王の環境調和活動～過去・現在・未来～
  - 講 師：花王グループカスタマーマーケティング株式会社  
社会コミュニケーション部門  
東北地区部長 守屋 明浩 氏
- 8 閉 会

## 令和4年度役員

(令和4年5月30日選任)

会 長	副会長	幹 事	監 事
金 澤 和 子	長 瀬 洋 子 草 莉 早 苗	鹿 野 順 子 齋 藤 淳 鈴 木 隆 男 中 村 明 千 荒 井 安 雄	渡 辺 明 渡 部 和 生

## 会員数

時点	個 人	団 体	事業者	計
設立総会時	35人	14団体	13事業者	62
R4.4.30	480人	37団体	172事業者	689
R5.4.30	518人	37団体	165事業者	720

## 令和4年度部会体制

部 会	部会長	副部会長
買い物エコフレンド部会	中 村 明 千	早 坂 恵美子 佐 藤 さおり
5 R 情 報 発 信 部 会	鈴 木 隆 男	井 上 英 俊 丹 野 一 史
ごみ減量学習部会	齋 藤 淳	佐 藤 弘 子 早 坂 敏 一
広 報 部 会	荒 井 安 雄	大 滝 和 子 松 本 秀 幸
ごみ減量アドバイザー部会	鹿 野 順 子	越 後 恵 美子 畠 山 優 子

## 令和4年度事業報告（案）

※報告中、事業の中止・延期（網掛け部分）および変更（下線部分）は全て、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による。

## 1 総会・役員会

項目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議
第1回役員会		4月11日	総会議案及び実施方法について
第2回役員会	拡大	9月 9日	活動の進捗及び今後の事業計画について
第3回役員会		12月 6日	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	2月10日	令和4年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月14日	令和5年度の事業計画及び総会第2部情報交換について

## 2 主な事業

項 目	開 催 日	摘 要
イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン寄贈受入 (イオン山形北店分)	4月11日	令和3年度下期分13,050円 ※電子マネー受領 (使用期限：4月30日)
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	5月16日 ～6月17日	[中央駐車場 ウィンドウディスプレイ] 本会活動のパネルおよび風呂敷マイバッグ等 の展示
ごみ減量ロビー展	5月27日 ～31日	[市役所1階 エントランスホール] パネル展示(活動紹介や分別クイズ等)、啓発 品配布、企業会員の取り組み紹介、エコいけ ばな展などを実施
設立15周年 記念講演	5月30日	[市役所11階 大会議室] テーマ：プラスチック製容器リサイクルに関 する取り組みについて 講師：(株)エフピコ 環境対策室ジェネラルマネ ージャー 富樫 英治
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	10月3日 ～10月31日	[中央駐車場 ウィンドウディスプレイ] 本会活動のパネル及び食品ロス削減運動に関 する展示
令和4年やまがた環境展参加	10月15日 ～16日	[山形国際交流プラザ1階多目的集会場] 主催：やまがた環境展実行委員会 山形市と協同出展し、パネル展示・分別クイ ズ・エコ工作おもちゃ展示・啓発品配布など を実施(分別クイズ参加者252名)
食品ロス削減啓発用紙芝居動 画DVD寄附受入式	12月15日	[市役所3階 特別応接室] 映画やアニメなどを鑑賞する機会が多い放課 後児童クラブ(学童)で活用いただくため、本 会より山形市へ食品ロス削減啓発用紙芝居動 画DVD(複数音声版)を寄贈

項 目	開 催 日	摘 要
ごみ減量すすむくん・かなえち ゃんかるた大会共催 (中止)	2月	主催：山形中央ライオンズクラブ(本会会員) 共催：本会
Y T S 「提言の広場」出演	2月11日	テーマ「食品ロスの削減に取り組もう」 金澤会長出演
第15回やまがた市民活動ま つり参加	2月19日	[霞城セントラル1階アトリウム] 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会 共催：山形市、山形市市民活動支援センター ブース出展（パネル展示、啓発品配布）
広報やまがた掲載（山形市発行）	2月1日号	特集記事 会の活動紹介など



(設立15周年記念講演)



(令和4年やまがた環境展)



(食品ロス削減啓発用紙芝居動画  
DVD 寄附受入式)



(第15回やまがた市民活動まつり)

### 3 各事業部会

部会ごとにスタッフが主体となって、企画・準備から各事業実施までを行った。

#### (1) 買い物エコフレンド部会 企画会議：4回

身近な取り組みでもある「食品用容器リサイクル（店頭回収）」について、子どもにも分かりやすく・親しみやすく伝えるため、令和2年度に作成した啓発用チラシを基に「キッズ対応版」を作成した。

また、市内スーパー2店舗で実施したキャンペーンにおいて店頭回収の現状や来店客の反応を確認し、ポストコロナ時代における啓発活動のあり方について検討を行った。

項目	期 日	摘 要
① ごみ減量ロビー展への協力 (新型コロナウイルス感染症対策として、啓発品の直接配布・対応を取りやめたため中止)	5月27日 ～5月31日	[山形市役所エントランスホール] 本会ブース全般について広報・啓発(雑がみ分別や食品用容器リサイクル、事業者会員パネル等の紹介)
② リサイクル推進キャンペーン	11月1日 11月4日	[イオン山形北店/ヤマザワ北町店] 食品用容器リサイクルや本会の活動を 紹介するパネルを展示し、ごみ減量と リサイクルの呼びかけと啓発品セット の配布を行った。
③ 食品用容器リサイクル キッズ対応啓発用チラシ作成・配布	6月～2月	食品用容器リサイクル キッズ対応啓発用チラシ 作成数：11,000部

#### 【スタッフ 延べ34名協力】



(企画会議)



(食品用容器リサイクル キッズ対応啓発用チラシ)



(リサイクル推進キャンペーン)

(2) 5 R情報発信部会 企画会議：4回

本会の会員事業者が行っているごみ減量とリサイクルの取り組みについて、部会スタッフが直接伺って取材を行い、その成果を情報誌で「取材記事」として発信した。

また、当会の運営方針である「5つのR」を広く周知するために作成した「5つのR紹介ポスター」について、前回の配付から5年以上経過し、ほぼ全ての施設ですでに掲出が終了していることから、若年層へのPR効果を意識したデザインへとリニューアルした。

完成したポスターについては、事業者会員や公民館・コミュニティセンター、スーパーのほか、市内の全教育機関やスポーツ施設、立体駐車場など、多種多様な市民が訪れる施設へ掲出を依頼し、5 R情報の発信に努めた。

項目	期 日	摘 要
① 各種団体等の情報収集	6月～3月	対象：市内のNPO、事業者等（事業者会員4者に取材を実施）
② 情報誌、SNS（ソーシャルネットワークサービス）による情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③ 「5つのRの紹介ポスター」の作成・配付	8月～3月	作製枚数：480部

【スタッフ 延べ34名協力】



(企画会議)



(5つのR紹介ポスター)



(取材風景)

(3) ごみ減量学習部会 企画会議：4回

ごみ分別の現状を学び、また、資源の再利用について自ら体験することで、家庭や地域、職場などでごみ減量の取組みを広めるため、各種事業を実施した。

コロナ禍での事業開催にあたっては、人数制限や施設側の受入制限などこれまで通りとはいかない部分も多々あったが、その現状を逆手にとり、通常であれば大人数で訪問・見学することができない事業者の取組みを学ぶ機会とし、動画や写真、アップサイクルされた実物を目の前にしての講演形式とするなど、「コロナだからこそできること」の工夫を凝らして実施した。

項目	期 日	参加者	摘 要
① リサイクル体験教室	7月26日	9名	工作活動 「お手軽リサイクルおもちゃ作り（講師 ごみ減量学習部会 副会長 佐藤弘子氏）」
② リサイクル関連施設研修会 ③ ごみ減量学習会 →(変更)リサイクル関連施設研修会(学習会)	11月22日 →(変更) 2月16日	36名	食品ロス削減に関する企業の取組みを学ぶ研修会と、家庭で実践するためのコツを具体的に学ぶ学習会を実施 →(変更)5つのRの推進に意欲的に取り組む身近な企業について学ぶ学習会を実施 「古い家具をよみがえらせ、次世代に想いをつなぐ『家具再生職人』の取組み (有家具のヤマヒョウ 代表取締役 井上英俊氏)」

【スタッフ 延べ44名協力】



(企画会議)



(リサイクル関連施設研修会 (学習会))



(リサイクル体験教室)



(リサイクル体験教室 作業風景)

(4) 広報部会 企画会議：4回

会の活動やごみ減量等の取り組みの発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めるため、1年間の活動の成果を伝える情報誌(年2回)の発行を行った。  
 また、食料品小売の現場で発生する食品ロスについて調査を行い、食品の期限表示に対する消費者の認識と実際の行動に大きな隔りがあることを確認したため、正しい知識を伝え、行動変容のきっかけとなるよう、「店内掲示用食品ロス削減啓発ステッカー」を作成した。  
 完成したステッカーについては、会員スーパーへ配付し、掲出を依頼した。

項目	期日	摘要
① フェイスブック・ホームページによる情報発信	随時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
② 情報誌の発行	11月、3月(年2回)	第31号、第32号 各4,000部
③ 店内掲示用食品ロス削減啓発ステッカーの作成・配付	11月～3月	作成枚数：1,000枚

【スタッフ 延べ45名協力】



(企画会議)



(店内掲示用食品ロス削減啓発ステッカー)



(情報誌 第31号・32号)

(5) ごみ減量アドバイザー一部会 企画会議：4回

ごみの減量や資源の再利用の必要性、実践方法を広めるため、本会会員の中から「ごみ減量アドバイザー」を登録し、市内の各任意団体やPTAを含む学校などが主催する「ごみ減量に関する学習会」に派遣した（計6回、延べ275名参加）。

また、コロナ禍により対面での活動が制限される中、「その場に行かなくても『もったいない』を伝えられる活動を続けたい」との思いから、劇のように複数人で掛け合いながら読み聞かせを行う「食品ロス削減啓発用紙芝居動画（複数音声版）」を作成し、DVD鑑賞の機会が多い放課後児童クラブで活用いただくため寄贈した。

項目	期 日	参加人数	摘 要
① 派遣制度のPR	随 時	—	派遣制度PRチラシ配付、ラジオ広報
② 新規アドバイザー募集	～7月	—	
③ スキルアップ研修会 及び新規アドバイザー登録証交付式	7月11日	12名	アドバイザーのための研修会 新規アドバイザー1名登録
④ アドバイザー派遣	5月12日 [第一中]	14名	第一中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	5月16日 [第九中]	24名	第九中学校総合文化部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	5月20日 [第八中]	17名	第八中学校総合活動部 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
	10月1日～6日 [遊学館]	180名	フラワーキッズ・日本伝統文化おもしろ子ども教室 「エコいけばな～祈りの花展～」
	11月18日 [金井小]	30名	金井小学校3年3組 「クイズで学ぶリサイクル」
	12月16日 [チェリア]	10名	山形県健康生きがい作りアドバイザー協議会 「エコいけばな・ごみ減量の環境教育」
⑤ もったいないアカデミー	1月31日 2月7日 [市役所大会議室]	25名 25名	「リサイクル米袋でエコバッグ作り」 「ふろしきの簡単便利な使い方」
⑥ 食品ロス削減啓発用紙芝居動画（複数音声版）の作成・配付	10～12月	—	作成数：80枚

【スタッフ 延べ30名協力】



(企画会議)



(スキルアップ研修会)



(エコいけばな)



(クイズで学ぶリサイクル)



(もったいないアカデミー  
～リサイクル米袋でエコバッグ作り～)



(もったいないアカデミー  
～ふろしきの簡単便利な使い方～)

**令和4年度収支報告（案）**  
（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	40,861	△ 23,139	
	繰越金	30,293	30,293	0	令和3年度より
	その他収入	33,707	10,568	△ 23,139	預金利子、損害保険返還保険料等
合 計		1,664,000	1,640,861	△ 23,139	

支出の部

（単位：円）

科 目		予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減額 (B)-(A)	摘要
大科目	中科目				
管理費		503,000	488,335	△ 14,665	
	会議費	258,000	250,685	△ 7,315	資料印刷費等
	事務費	125,000	119,070	△ 5,930	事務用品、OA機器リース、傷害保険料
	通信費	120,000	118,580	△ 1,420	資料等送付費
事業費		1,156,000	1,121,774	△ 34,226	
	広報事業費(広報部会)	377,000	374,456	△ 2,544	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	734,000	711,318	△ 22,682	
	(買い物エコフレンド部会)	110,000	108,460	△ 1,540	食品用容器リサイクルキッズ対応啓発用チラシ作成費、スタッフジャンパー等のクリーニング費
	(5R情報発信部会)	125,000	115,496	△ 9,504	5R情報発信用啓発品作成費等
	(ごみ減量学習部会)	175,000	168,669	△ 6,331	研修会、リサイクル体験教室等開催費
	(ごみ減量アドバイザー部会)	180,000	179,240	△ 760	アドバイザー派遣費、食品ロス削減啓発用紙芝居複数音声版動画作成費、もったいないアカデミー開催費
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	144,000	139,453	△ 4,547	食品ロス削減啓発品作成費等
	減量すすむくん基金 繰出金	45,000	36,000	△ 9,000	
予備費		5,000	0	△ 5,000	
合 計		1,664,000	1,610,109	△ 53,891	

収入金額 1,640,861 円  
 支出金額 1,610,109 円  
 差引金額 30,752 円(令和5年度に繰り越し)

## 【特別会計】令和4年度減量すすむくん基金収支決算報告（案）

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

### 収入の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額増減額 (B)-(A)	摘要
減量すすむくん寄付金	4,158	13,499	9,341	減量すすむくん着ぐるみメンテナンス代 充当を目的として
その他収入	57,842	48,842	△ 9,000	
繰越金	12,842	12,842	0	令和3年度より
繰入金	45,000	36,000	△ 9,000	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	62,000	62,341	341	

### 支出の部

（単位：円）

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引増減 (B)-(A)	摘要
着ぐるみメンテナンス費	62,000	61,270	△ 730	抗菌・撥水コート適用(2月)
合 計	62,000	61,270	△ 730	

収入金額                    62,341 円  
 支出金額                    61,270 円  
 差引金額                    1,071 円(令和5年度に繰り越し)

## 監査結果報告書

令和4年度ごみ減量・もったいないねット山形の収支決算について、関係帳簿、預金通帳等を監査した結果、いずれも正確かつ適正に処理されておりましたので、報告します。

ごみ減量・もったいないねット山形  
会長 金澤 和子 様

令和5年4月6日

ごみ減量・もったいないねット山形

監事 渡辺 明 

監事 渡部 和生 

## 令和5年度事業計画（案）

## 1 運営方針

- ◎ 5つのR（リフューズ〔Refuse：辞退〕、リデュース〔Reduce：発生抑制〕、リユース〔Reuse：再使用〕、リペア〔Repair：修理〕、リサイクル〔Recycle：再生利用〕）を推進する取り組みを市内全域に広めます。
- ◎ 物を大事に、感謝する心、リスペクト【Respect】を大切にライフスタイルやビジネススタイルを見直します。
- ◎ 会や会員の情報を発信・共有し、会員や活動の輪を広げます。
- ◎ 「もったいない」という共通の認識のもとに、会員の声を聞き、開かれた運営を行います。

## 2 総会・役員会

項目	区分	期 日	内 容
総 会		5月30日	議案審議、情報交換
第1回役員会		4月11日	総会議案の協議、総会の進め方について
第2回役員会	拡大	8月	部会活動について
第3回役員会		11月	会全般及び部会活動について
第4回役員会	拡大	1月	令和5年度予算執行状況及び今後の執行見込みについて
第5回役員会		3月	令和6年度の事業計画及び総会の進め方について

## 3 主な事業

項目	開催日	摘 要
ごみ減量ロビー展	5月29日 ～31日	会場：山形市役所1階エントランスホール 内容：雑がみ・食品トレーリサイクル紹介、エコ いけばな展示、会員企業の取り組み紹介
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	5月15日 ～6月16日	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにお いて本会の活動を紹介
令和5年やまがた環境展参加	10月	会場：山形国際交流プラザ 主催：令和5年やまがた環境展実行委員会 「環境活動・啓発・体験ゾーン」にブース出展 パネル展示、ワークショップ、分別クイズ実施
ごみ減量・もったいないねット 山形ウィンドウディスプレイ	10月	山形市中央駐車場ウィンドウディスプレイにお いて本会の活動を紹介
ごみ減量すすむくん・かなえち ゃんかるた大会	時期未定	かるた大会 会場：市総合スポーツセンター武道場 主催：山形中央ライオンズクラブ 共催：本会 後援（予定）：山形市、山形市教育委員会
第16回やまがた市民活動まつ り参加	未 定	ごみ減量・もったいないねット山形活動紹介 会場：霞城セントラル1階アトリウム 主催：山形市市民活動支援センター連絡協議会
広報やまがた掲載（山形市発行）	随 時	特集記事 会の活動紹介等

## 4 各事業部会

### (1) 買い物エコフレンド部会

買い物という身近な場において、消費者と事業者が取り組める行動の情報を共有します。  
また、マナー向上を呼びかける取り組みを通して、消費者・事業者・行政が連携したごみ減量とリサイクルの推進を目指します。

項目	期 日	摘 要
①ごみ減量ロビー展への参加	5月29日 ～31日	食品用容器や雑がみのリサイクルについての啓発活動
②リサイクル推進キャンペーン	6月～11月 (6月・10月強化月間)	市内スーパーにて、食品用容器や雑がみのリサイクルについて呼びかけ、啓発品の配布
③食品用容器リサイクルマナーアップ啓発品作成	6月～10月	食品用容器リサイクルへの協力とマナーアップを呼びかけるための啓発品種類を作成

### (2) 5R情報発信部会

市内のNPO、各種団体、事業者団体等のごみ減量や資源の再利用の取組み(5R)について、情報を収集・発信し、消費者及び事業者が利用できるごみ減量等の取組みの拡大を目指します。

項目	期 日	摘 要
①各種団体等の取材・情報収集	6月～3月	対象：市内のNPO、各種団体、事業者等
②情報誌、SNS(ソーシャルネットワークサービス)による情報発信	随 時	ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
③新もったいないマップの作成	6月～2月	デジタルコンテンツを取り入れた個人向け情報発信ツールとして作成

### (3) ごみ減量学習部会

ごみ分別の現状を学び、また、資源の再利用方法を体験し、家庭や地域や職場等においてごみ減量等の取組みを実践します。

項目	期 日	摘 要
①リサイクル体験教室の実施	7月下旬	工作活動
②リサイクル関連施設研修会の実施	10月中旬	リサイクルに関連する施設を見学し、ごみ減量やリサイクルについて学習する。
③ごみ減量学習会の実施	11月下旬	ごみ減量やリサイクルに関する勉強会

#### (4) 広報部会

情報誌や様々な情報媒体を通して、会や会員の活動情報やごみ減量等の情報の発信・共有を行い、ごみ減量の輪を広めます。

項目	期日	摘要
①フェイスブック・ホームページによる情報発信	随時	会の活動、ごみ減量や資源の再利用の取組情報等
②情報誌の発行	11月、3月	第33号、第34号 各4,000部
③ごみ減量啓発グッズの作成	6月～2月	ごみ減量とリサイクルに関する啓発グッズの作成・活用
④各種取材	随時	全体・各部会事業に参加し取材を行う

#### (5) ごみ減量アドバイザー部会

ごみの減量や資源の再利用の必要性や実践方法を会員自らが学び、地域や学校等においてごみ減量の取組みを広めます。

項目	期日	摘要
①アドバイザー派遣	随時	地域の集まりや学校など
②新規アドバイザー募集	5月～6月	
③スキルアップ研修会および新規アドバイザー登録証交付式	7月	アドバイザーのための研修会
④もったいないアカデミーの開催	1月～2月	2回実施
⑤ごみ減量アドバイザー派遣 PRチラシ更新	8月～	派遣PRチラシの作成・配布

**令和5年度収支予算（案）**  
 （令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

収入の部

（単位：円）

科 目		5年度 予算額 (A)	4年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
補助金収入		1,600,000	1,600,000	0	
	山形市補助金	1,600,000	1,600,000	0	山形市より
その他収入		64,000	64,000	0	
	繰越金	30,752	30,293	459	令和4年度より
	その他収入	33,248	33,707	△ 459	預金利子、傷害保険返還保険料等
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

支出の部

（単位：円）

科 目		5年度 予算額 (A)	4年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
大科目	中科目				
管理費		498,000	503,000	△ 5,000	
	会議費	253,000	258,000	△ 5,000	資料印刷費等
	事務費	125,000	125,000	0	事務用品、OA機器リース、傷害保険料
	通信費	120,000	120,000	0	資料等送付費
事業費		1,161,000	1,156,000	5,000	
	広報事業費(広報部会)	406,000	377,000	29,000	HP管理更新、情報誌印刷・郵送費等
	実践活動事業費	705,000	734,000	△ 29,000	
	(買い物エコフレンド部会)	110,000	110,000	0	食品用容器リサイクル啓発チラシ作成
	(5R情報発信部会)	150,000	125,000	25,000	新もったいないマップ作成
	(ごみ減量学習部会)	165,000	175,000	△ 10,000	リサイクル体験教室、リサイクル関連施設研修会、ごみ減量学習会開催
	(ごみ減量アドバイザー部会)	170,000	180,000	△ 10,000	アドバイザー派遣、もったいないアカデミー開催、派遣PRチラシ作成
	(ごみ減量啓発グッズ作製)	110,000	144,000	△ 34,000	ごみ減量啓発グッズの作成
	減量すすむくん基金 繰出金	50,000	45,000	5,000	
予備費		5,000	5,000	0	
合 計		1,664,000	1,664,000	0	

## 【特別会計】令和5年度減量すすむくん基金収支予算（案）

（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

### 収入の部

（単位：円）

科 目	5年度 予算額 (A)	4年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
減量すすむくん寄付金	15,929	4,158	11,771	減量すすむくん着ぐるみメンテナンス代 充当を目的として
その他収入	51,071	57,842	△ 6,771	
繰越金	1,071	12,842	△ 11,771	令和4年度より
繰入金	50,000	45,000	5,000	減量すすむくん基金繰出金より
合 計	67,000	62,000	5,000	

### 支出の部

（単位：円）

科 目	5年度 予算額 (A)	4年度 予算額 (B)	増減 (A)-(B)	摘要
着ぐるみメンテナンス費	67,000	62,000	5,000	抗菌・撥水コート適用
合 計	67,000	62,000	5,000	

## ごみ減量・もったいないねット山形 規約

(名称)

第1条 この会は、「ごみ減量・もったいないねット山形」(以下「会」という。)という。

(目的)

第2条 この会は、市民、事業者、行政が、山形市域におけるごみの減量及び資源の再利用(以下「ごみ減量等」という。)を推進するために、共に考え、実践し、相互に協力・連携を図り、循環型社会の形成をめざす。

(事業)

第3条 この会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) ごみ減量等のための情報発信
- (2) ごみ減量等のための実践活動
- (3) その他、この会の目的を達成するための必要な事業

(会員)

第4条 この会の会員は、市民、市民団体、事業者、事業者団体及び山形市で構成する。

(入会・退会)

第5条 入会しようとする者は、入会申込書を提出することとする。

2 退会するときには、退会届を提出することとする。

(役員)

第6条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 若干名
- (3) 幹事 10人以内
- (4) 監事 2人

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員のうちから選任する。

2 副会長のうち、1人は山形市のごみ減量を所管する部長が務める。

3 前条にあげる役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第8条 会長は、この会を代表し、業務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 幹事は、会長の指示により、会務を処理する。

4 監事は、会計を監査し、その結果を会に報告する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(アドバイザー)

第10条 この会に、アドバイザーを置くことができる。

2 アドバイザーは、必要に応じ会長が依頼する。

(総会)

第11条 総会は、毎年1回会長が招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を開催することができる。

2 総会の議長は、総会出席会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第12条 総会は、会員の過半数の出席がなければ開催することができない。ただし、委任状を提出した者は出席者とみなす。

(経費)

第13条 この会の経費は、市の補助金及びその他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 会は、事業年度開始の日から総会の日までの本会予算について、前年度の収支予算に準じて執行することができる。

(議決事項)

第15条 総会は、次の事項を議決する。

(1) 規約の変更

(2) 事業計画および収支予算

(3) 事業報告および収支決算

(4) その他、この会の運営に関する重要な事項

(議決)

第16条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(役員会)

第17条 役員会は、会長、副会長、及び幹事をもって構成し、必要に応じ会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長とする。

3 役員会は、総会に付議する事項、会の運営に関する事項等を審議する。

4 役員会は、その他会長が必要と認めた事項について協議し、事業を運営する。

(事務局)

第18条 当分の間、事務局を山形市のごみ減量を担当する課に置く。

(委任)

第19条 この規約に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、役員会において別に定める。

附 則

1 この規約は、平成18年12月16日から施行する。

2 この会の設立当初の役員の任期は、第9条1項の規定にかかわらず、成立の日から平成20年総会の日までとする。

3 この規約は、平成21年5月30日から施行する。

4 この規約は、平成22年5月30日から施行する。

# みんなでごみ減量に取り組もう!



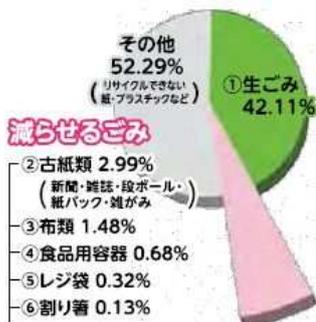
市民の皆さんのごみ減量に対する意識の高さにより、山形市では、古紙のリサイクルや食品用容器の店頭回収などの取り組みが広く定着しています。

しかし、家庭から出されるごみの中には、「減らせるごみ」がまだ含まれていることをご存じですか？

さらなるごみ減量のため、自分にできることがないか、一緒に考えてみましょう! 〇 ごみ減量推進課 ☎内線698・699

## もやせるごみは まだまだ減量できます!

家庭から出されるもやせるごみの内訳(重量ベース)



### エコでお得な “生ごみやさいクル事業” を利用しませんか?

どうしても発生してしまう“生ごみ”を肥料として土に戻すことも大事なポイント。電気式(乾燥式)生ごみ処理機を活用して“生ごみやさいクル”に参加し、楽しく、お得に生ごみ減量に取り組みましょう。

生ごみを電気式(乾燥式)生ごみ処理機で処理し、[乾燥生ごみ]にする

[乾燥生ごみ]を分別して1kgずつ透明袋に入れる

指定場所で1kg当たり1ポイントがもらえる

5ポイントたまると指定の場所で500円相当の新鮮野菜などと交換できる!

## ごみ減量のワンポイント!

### ① 生ごみ

水をしっかり切って重さを軽減したり、肥料として土に戻したりすることをお勧めします。

\*生ごみ処理機等購入補助制度の利用は、事前にごみ減量推進課へお問い合わせください。



### ② 古紙類

(新聞・雑誌・段ボール・紙パック・雑がみ)

品目ごとに分別して、地域の資源回収やごみ集積所(ペットボトルの収集曜日)に出してください。

\*雑がみ…カレンダーや空き箱、封筒などのリサイクル可能な紙類



### ③ 布類

地域の資源回収(取り扱いの有無は実施団体による)に出すか、市内17カ所の「資源物引取事業所」をご利用ください。

\*ファスナー類は取らないでください。



### ④ 食品用容器

「ごみ」に出すとかさ張る食品用の発泡トレイ・透明容器は、スーパーで行われている店頭回収をご利用ください。

\*対象品以外は出さないなど、マナーを守って利用しましょう。



### ⑤ レジ袋

「カバンの中にいつもマイバッグ」でスマートな暮らしを心掛けましょう。



### ⑥ 割り箸

普段の生活にマイ箸やマイスプーンなどを取り入れましょう。



## リユースにご協力をお願いします!

使えなくなったものや不要なものを捨ててしまう前に、リユースできないか、考えてみましょう!

### ① お店を利用する

リサイクルショップ、リペアショップなど

### ② フリーマーケットを利用する

開催情報は、広報やまがたやインターネットなどでチェック

### ③ 「メルカリ」等フリマアプリを利用する

アプリのダウンロードはこちらから



▲ iPhone用

▲ Android用



\*市では、(株)メルカリ・(株)ソウゾウと包括連携協定を締結し、リユースを推進しています。

# 食べ残しは「もったいない」!



山形市と一緒に食品ロス削減に取り組む、市民団体「ごみ減量・もったいないねっと山形」の活動を紹介します。食品ロス削減のために、自分にできることから実践してみませんか?

## 「食品ロス」とは?

まだ食べられる状態にもかかわらず廃棄される食品のことです。

日本で発生している食品ロス(年間約522万トン/農林水産省令和2年推計)は、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(年間約420万トン)を大きく上回る量になります。国民1人1日当たり約113g、コンビニのおにぎり1個分が毎日廃棄されている計算です。

## 「ごみ減量・もったいないねっと山形」とは?

市民・事業者・行政が協力し、市内のごみの減量とリサイクルを進めるため、平成18年に発足した市民団体です。

運営方針の「5つのR<sup>®</sup>」を推進するため、さまざまな活動を行っています。

※5つのR…リフューズ(断る)、リデュース(発生抑制)、リユース(再利用)、リペア(修理)、リサイクル(再生利用)

## さんまる いちまる 30・10 運動 に取り組もう!

### ● 家庭で! 「30・10運動～家庭編～」

日本の食品ロスの約半分は、家庭から出ています。

冷蔵庫の中から、使い切れなかった調味料やごはんのお供、買い過ぎて忘れてしまった食材など、「傷む前に気付けばおいしく食べられたもの」が出てきたことはありませんか?

毎月10日と30日を「冷蔵庫チェックデー」とし、冷蔵庫の中を定期的に整理整頓する習慣を作る「30・10運動～家庭編～」を実践してみましょう!



冷蔵庫貼付用マグネットシート

### ● お店で! 「30・10運動～新しい生活様式編～」

事業系食品ロスは、製造段階での規格外品や小売店での売れ残りのほか、**外食における「食べ残し」**が大きな要因となっています。

注文し過ぎて食べられなかったお料理、楽しいおしゃべりに夢中で冷めてしまったお料理…まあいいか、と残してしまったことはありませんか?

「**間隔最低1メートル**」「**手洗い30秒**」「**自席で料理に集中して食べ残し0**」で、**感染症対策を取りながら食べ残し0を目指す「30・10運動～新しい生活様式編～」**を実践してみましょう!



30・10運動啓発用コースター

「冷蔵庫貼付用マグネットシート」と「30・10運動啓発用コースター」はごみ減量推進課で配布しています(数に限りがあります)。

## 子どもと一緒に 食品ロスについて考えよう!

小さな頃から「もったいない」に親しみ、食べ物に対する感謝の心を育てるため、食品ロス削減啓発用紙芝居「みんなでおいしくいただきます!～おさらピカピカ大作戦～」を制作しました。

保育園のお誕生日パーティーを舞台にした、子どもたちに身近に感じてもらえる物語で、食べ物を作ってくれた人への感謝や資源の大切さを楽しく学ぶことができます。市内の幼稚園などで活用されているほか、市立図書館や県立図書館で貸し出ししています。

この紙芝居をもとに、読み聞かせを聞いているような「読み聞かせ動画」や、人の出入りが多い場所でも子どもの興味が引けるように「複数音声版の動画」を制作しました。「複数音声版の動画」は放課後児童クラブで活用されていて、「読み聞かせ動画」はもったいないねっと山形の公式ホームページでご覧いただけるほか、希望者へDVDを貸し出ししていますので、ぜひご利用ください。



読み聞かせ動画



• • \*\*MEMO\*\* • •